

会 報

＜第355号＞

時代を築くヒューマンネットワーク

一般社団法人兵庫県建築会



発行日：平成27年5月1日

目次 ◎ 第437回月例会（建築セミナー併催）報告

- 『神戸ビエンナーレのテーマ“スキ。”について』華道家 吉田 泰巳氏・・・1～3頁
- ◎ 『昭和の異人』 (株)淡路土建神戸支店 小寺 泰雄氏・・・3～4頁
- ◎ 部会活動報告：平成26年度第2回建築確認検査機関連絡会の開催結果・・・4～5頁
- ◎ お知らせ・・・5頁
- 広報コーナーについて・・・6頁

第437回月例会 （講演要旨）

テーマ 『神戸ビエンナーレのテーマ“スキ。”について』

開催日 平成27年3月12日（木）

開催場所 神戸東急イン

講師 華道家、神戸ビエンナーレ総合プロデューサー 吉田 泰巳



日経新聞によると、兵庫県のいけばな人口は東京に次いで2番目と多いが、少子化、趣味の多種多様化により今は危機的な状況と考える。

講師 吉田泰巳氏

嵯峨御流の華道家で今年の秋に開催されます「神戸ビエンナーレ 2015」の総合プロデューサーである吉田泰巳氏の文化セミナーを開催いたしました。著書「いけばなのあらわれ」は版画により花の形・色、器の形・色を繊細かつ和み、美しさを表されるなど多彩な才能を発揮されています。また著書「はなかぶき」では、本日の講演内容の「相聞奏華」の話など紹介されていますので興味を持たれた方は是非お読みいただきたく思います。



開会挨拶 瀬戸本会長

はじめに

いけばなは、中世の鎌倉・室町の時代に、日本の伝統芸術といわれる能、歌舞伎などと共に生まれた。江戸時代に入り歌舞伎等は、やわらかい楽しい考え方で広まったが、いけばなは封建時代を支える朱子学的に堅苦しい考え方で育った。明治時代には行儀作法を普及のため学校等で必須となり広まり、その後、良家の子女の花嫁修業や戦後は民主化に伴い大衆化され誰もが参加できるようになるなど、それぞれの時代背景により少しずつ違った形で発展してきた。

いけばなの課題

いけばなを普及させるためには、それは難しすぎてはいけない。やさしくて、簡単で、面白かったら人は集まってくると考える。また、若い人は行儀作法に興味がなく、いけばなの先生も教えてやるとの意識で指導するので、面白くないし楽しくないので弟子が減っていくのも当然である。

宗教の例で、禅宗の曹洞宗、浄土真宗は信徒が多く、臨済宗、真言宗、天台宗は少ない。その要因は教えが難しすぎ、死後の世界に極楽があるとする浄土思想を取り入れた宗教が発展してきた。さらに、お経を覚えなくても南無阿弥陀仏を繰り返すだけで極楽に行けるなど「楽」なことも要因と考える。

相聞奏歌

私は、『相聞奏華』の心でいけばなをやさしい、簡単で楽しいこととして普及に努めている。

万葉集には恋の歌「相聞歌」がある。愛しいなど素直な心を伝える「歌」の部分「華」にし、生け花に欠ける音楽を奏でる「奏」を取入れた『相聞奏華』を造語し、出来るだけやさしく、簡単で楽ないけばなを推進している。いろいろなやり方、方法があることを認め、お弟子さんに易しい道を教えることを見つけ出さなければいけばなも衰退していく。

お勧めすることは、安くても一番気にいった一

本の花を飾って見ること。上手下手は関係なく、部屋がえも言われぬ雰囲気醸し出す。このことを理解できるのには私は76年間かかった。

またいけばなとはなにかと考えると、いけばなと仏教とは密接な関係があると考え。仏教が触媒となっていけばながあったかも知れない。神、仏様を呼び込むための目印に花が必要であった。正月の門松なども同様と考える。



明王 1993年

「いけばなのあらはれ」吉田泰巳 版画作品集より

光州ビエンナーレ

今から10数年前にあるホテルの展示会でいけばなを曼荼羅のように立体的に置いてみた。その展示品に、西日の光が入り、素晴らしく感動的な展示となった。その時、見学中の韓国人が感動し、韓国の光州（クアンジュ）ビエンナーレへ出展する機会を得た。

韓国でもいけばなは自分の国がルーツであるということで、当初は韓国のいけばなと同じ部屋で、共同出展の話があった。私の作品集を見ていた理解のある担当者によって、別の170坪の空間を与えられたため、映像やピアノを置き、歌手も連れて音楽を使って雰囲気つくった。その結果、音楽も一緒にした私の会場が評判となり偉い人にも評価された。それは花の魅力や美しさと、癒しの空間を演出したことにより成功したと私は考えている。この縁があり、賞の代わりに韓国の名誉広報大使となった。

いやしの空間とは

今のいけばなは西洋の悪い影響で、フラワーデコレーションをまねた百花繚乱的になっており、花の魅力を十分に引き出していない。またテーブル花もしかりで、それらは癒しの空間になっていない。日本では主役は床の間の掛け軸、お客様であり、花はおもてなしの空間をつくるための道具たてとしてシンプルに癒しの空間を形成することが目的である。

「おもてなし」は言葉ではなく、心でするものであり、私はおもてなしをする前にどこでおもてなしをするかを考え、感じのよい癒しの空間を作ることを心がけている。

神戸ビエンナーレへ・市長の決断

ビエンナーレとはイタリア語で2年に一度の意味で、ベネチアで100年前に開かれたものが現代アート祭典として広めたもの。第2回光州ビエンナーレのあと、作品を持ち帰り展示したところ、神戸市長の一言で震災復興のイベントとしてビエンナーレを神戸で開催されることになった。

私が実行委員委員長となり、それぞれの専門家、仲間が集まり開催することが出来たが、特に環境関係の仲間の協力がなければ神戸ビエンナーレは成功しなかった。

また、テーマを考えるにあたり、神戸の街を表現するのに、日本的な街といえば神戸が一番で、視点を変えてみると神戸が一番新しさがあると思えた。そこで京都、奈良にはない神戸の新しいさを現そうと考えた。

神戸は、海外からも人が集まり、交じりあっているハイブリット文化と言える。日本を代表するまちであり、それを皆に知らしめることが大事なテーマであると考えた。

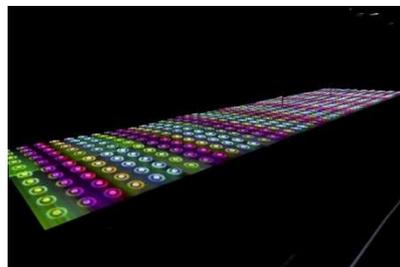


神戸ビエンナーレ
2013
メリケンパーク会場

しつらいアート国際コンペティション大賞作品

神戸ビエンナーレと今後

今回のテーマは「スキ」であるが、スキは物事の原点である。スキから家族が生まれ、家族が集まって町となり国となる。皆さんが建築の世界にはスキだからこそ入り、そして道を究めたものである。余談になるが、いけばなと建築は共通点がある。花を「たてる」というが、建築も「たてる」である。これを検証するのもおもしろい。



神戸ビエンナーレ
2013

アートインコンテナ国際コンペティション大賞作品

そして、「スキ」は神戸のらしさである軽さ（かろさ）、新しさを表現したいと考えた。かろさにはスキマがある、そのスキマは余裕となる。その点も神戸らしさ感がある。

過去のビエンナーレはそれぞれにテーマを決めたが、前回の第4回は、閉塞している現状を切り

会員レポート

「昭和の異人」

淡路土建（株）神戸支店 小寺 泰雄

【磯崎新と横尾忠則の対談】

去年の12月に横尾忠則現代美術館の特別展のイベント「記憶の遠近術 篠山紀信、横山忠則を撮る」の横尾氏(78歳)と磯崎氏(83歳)による対談を聞いてまいりました。お二人とも年齢の割に若い感じで、ともに白、灰色のマフラーのダンディな身なりで約2時間の対談のなか二人の出会い、万博、温泉（帯状疱疹の治療湯治）の話などで盛り上がっていました。

グラフィックデザイナーの横尾氏は、自分の作品には芸術や日本の文化にあるように「あいまいな部分が必要なことがある」と言い、そこに自分の立ち位置を見つけて表現してきたとのこと。

また作品は依頼人が提示する条件を最大限に具体化した結果であるから、一般人（どのレベルかはわかりませんが？）から見ると可笑しいと思うかもしれないが、依頼人からは文句を言われたことはなく、「当然、クライアントの要望をすべて取り入れているのであるから、あとは、なにをやっても許される。」とある意味無茶な論理を展開されるのでした。



磯崎・横尾対談会場
(肖像撮影は不許可)

裂き、その向かいに花などの自然を願望して「さく」とし、3回目は、日本人のきめ細かい感情表現のなかで漫画などに表現される擬態語から「きら」、2回目は日本の昔の国名と日本人の感覚は自然の循環による環の「わ」そして第1回は日本文化の原点を異人種・人の交流であることから「出会い」とした。

今後の目標は、世界ビエンナーレフォーラムに参加すること。その参加基準は厳しいが、横浜、神戸が参加できるように、そのビエンナーレに今後の活動を進めてみたいと思っている。

おわりに

最後にこの言葉で講演の終わりとされました。「どの花でもよいですから気に入った1本の花を買って、どの器でもよいので生けてみてください。素晴らしい空間が出来るはずです。」



ゴールドスティック A
2012年



ゴールドスティック B
2012年

「いけばなのあらはれ」 吉田泰巳 版画作品集より



マチュピチュ
1990年



コパカバーナの娘
1990年

2 平成26年度建築基準法施行令の改正について(主なもの)

- (1) 構造計算適合判定の対象の見直し
構造計算適合性判定の対象外とする「確認審査が比較的容易にできるもの」はルート2(許容応力度計算)とする。
- (2) 増改築時の構造計算適合判定の義務付け
既存不適格建築物を政令で定める範囲内で増改築する場合に適用する基準(特定増改築計算基準)は、特定構造計算基準と同じとする。
- (3) 3階建ての学校等に関する規制の見直し

3 (公財)兵庫県住宅建築総合センター構造計算適合判定の審査体制について

センターでは構造計算適合判定業務を委嘱した判定員による部会制により実施してきたが、平成27年度より、従来の外部判定員から常勤職員を中心とした判定体制に移行することとした。これにより、従来よりも円滑な窓口対応や審査のスピードアップが図られることとなる。

なお、県が指定する適合判定機関は、従来どおり「(一財)日本建築センター」「(公財)兵庫県住宅建築総合センター」となる見込み。

お知らせ

◎ 平成27年度第1回役員会(兼理事会)を開催

開催日 平成27年4月23日(木)
会場 兵庫倶楽部(神戸市中央区)
議事

平成26年度事業報告及び決算等について審議し、提案内容について承認が得られました。この結果は5月18日(月)に開催される平成27年度定時総会に提案されることとなります。

◎ 会員の異動(4月25日現在届出分) (株)内藤設計

(新)代表取締役 会長 内藤五郎氏
(新)代表取締役 社長 藤原義弘氏
(新)兵庫支店:取締役支店長 森本恭行氏

◎ 行事ご案内

① 平成27年度定時総会・会員交流会

開催日時 5月18日(月)

総会 17時～

交流会 17時45分～

会場 神戸三宮東急REIホテル

(旧神戸東急イン・4月1日から名称変更)

② 第439回月例会・・・近日ご案内

テーマ「兵庫県の住宅・建築関係の主要施策」

講師 兵庫県県土整備部住宅建築局

局長 小南 正雄氏

開催日時 6月18日(木) 12時～14時

会場 西村屋 和味旬彩

③ 第440回月例会・・・近日ご案内

テーマ 健康マイプラン講座「こうして防ごう
認知症～今日からできる生活改善～」

講師 福田 章氏

兵庫県生きがいつくり協議会

開催日時 7月16日(木) 12時～14時

会場 神戸三宮東急REIホテル

④ 第150回研修交流会(建築会ゴルフコンペ)・・・近日ご案内

開催日時 6月25日(木) 集合8時30分

会場 六甲国際ゴルフ倶楽部

スタート 9時03分～ 3組

◎ 事務局便り

4月の天候不順は、観測史上最も雨が多かったとのことで、花見は残念でしたが、買い過ぎたと思っただけで結局不足することになりました。5月の連休はその反動に期待しましょう。

ところで、「健康ひょうご21県民運動推進員」を兵庫県知事から委嘱されました。これは、当会が「健康ひょうご21県民運動推進会議」の参画団体になっていることから、期間は本年4月1日から2年間です。その活動すべき内容は①健康づくりの実践、②研修会等への参加、③所属団体等への普及…等です。7月の月例会が従前から「健康」に関することがテーマとなっているのもこのことに関係しますが、会員の健康づくりの一助になればと、年1回の講演会だけでなく、このコーナーを利用して、少しは自力で“推進員”の任務を遂行してみたいと思います。

事務局: 谷 純夫、石井滝実子

電話: 078-996-2851

FAX: 078-996-2852

Email: archit-k@axel.ocn.ne.jp

広報コーナー（広告）

会員はじめ関係団体・企業等の事業や商品紹介等に係る広報・広告を掲載するコーナーとします。（6月号から予定）

掲載料金は下記のとおりですので、ご活用を是非よろしくお願ひします。

お問い合わせにつきましては事務局までお願ひします。

記

1 掲載料金

全ページ	10,000円
1/2ページ	5,000円
1/3ページ以下	4,000円

2 発行部数

メール配信先 … 正会員、特別会員及び関係者等
約130人(社、団体)
また、会報はホームページに常時掲載されます。